

### 第3期愛知県医療費適正化計画の実績に関する評価報告書について

#### 1 実績に関する評価の位置付け

「高齢者の医療の確保に関する法律」（昭和57年法律第80号）に基づき、平成30年3月に策定した第3期愛知県医療費適正化計画（計画期間：平成30年度から令和5年度までの6年間）について、実績評価を行う。

#### 2 主な目標の進捗状況

##### (1) 住民の健康の保持の推進に関する事項

項目	目標値	進捗状況	(参考)
特定健康診査実施率	70%以上 (令和5年度)	61.6% (令和4年度)	54.3% (平成29年度)
特定保健指導実施率	45%以上 (令和5年度)	31.6% (令和4年度)	21.6% (平成29年度)
メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率 (対平成20年度比)	25%以上減 (令和5年度)	18.0% (令和4年度)	0.8% (平成29年度)
成人(20歳以上)の喫煙率	男性 17%以下 女性 4%以下 (令和5年度)	男性 24.2% 女性 5.6% (令和4年度)	男性 26.1% 女性 6.4% (平成28年度)

##### (2) 医療の効率的な提供の推進に関する事項

項目	目標値	進捗状況	(参考)
後発医薬品割合 (数量ベース)	80%以上 (令和5年度)	86.3% (令和5年度)	73.8% (平成29年度)

#### 3 医療費推計と実績の比較・分析

第3期愛知県医療費適正化計画では、医療費適正化に係る取組を行わない場合、平成30年度の推計医療費2兆3,443億円から、令和5年度には約2兆7,297億円まで医療費が増加することが推計されており（適正化前）、医療費適正化に係る取組を行うことで、令和5年度の医療費は約2兆7,040億円となると推計していた。

令和5年度の医療費は概算で約2兆6,987億円となっており、第3期愛知県医療費適正化計画で推計される医療費（適正化後）との差異は53億円となる。

#### 本県における医療費の推計及び実績の推移

(単位：億円)

	① 推計値 (適正化前)	② 推計値 (適正化後)	③ 実績値	④ 推計値と 実績値の差 (③ - ②)
平成30年度	<b>23,443</b>	23,440	23,343	△97
令和元年度	24,384	24,155	23,964	△191
令和2年度	25,127	24,890	23,524	△1,366
令和3年度	25,831	25,588	24,901	△687
令和4年度	26,554	26,304	26,093	△211
令和5年度	<b>27,297</b>	<b>27,040</b>	<b>26,987</b>	<b>△53</b>

出典：国民医療費の概況（※令和5年度の実績値は概算医療費）

#### 4 今後の課題及び推進方策

- 住民の健康の保持の推進に関する事項である令和5年度の特定健康診査実施率70%、特定保健指導実施率45%、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率25%の目標については、毎年度改善されているものの、それぞれ実績との差異が大きいことから、引き続き第4期愛知県医療費適正化計画においても、実施率・減少率の向上に向けて、関係者の更なる取組をより一層促す必要がある。
- 医療の効率的な提供の推進に関する事項である令和5年度までに後発医薬品の使用割合を80%とする目標については達成されたものの、医療費適正化を進めていくため、引き続き後発医薬品の使用促進を図っていく。
- 第3期医療費適正化計画の実績から、住民の健康の保持の増進及び医療の効率的な提供の推進に向けた取組を加速する必要がある  
第4期医療費適正化計画においては、「健康増進計画」、「介護保険事業支援計画」や「医療計画」といった密接に関連する他計画と調和を図りながら、医療費適正化に向けた取組の実施や、進捗状況に関する調査及び分析の際に目標の達成状況について要因分析を行うなど、第4期医療費適正化計画の達成に取り組んでいく。